

## 令和6年度 第3回 西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月28日（木） 13時30分から15時30分
- 2 開催場所 西小学校 会議室
- 3 出席委員 中谷 忠司、土屋 雅利、加藤 正寿、山田 悟央、三上 昌子、岡野 みの、平出 慎一郎、鈴木 将孝、福田 達樹、種茂 実予子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 渡辺 浩司（校長）、佐野 尚也（教頭）、高橋 真之（教務・CS担当）、古田 秀樹（生徒指導主任）、國年 麻衣子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 國年 麻衣子

### 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、土屋副会長より加藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 9 協議事項

- （1） 学校評価のアンケート項目について
- （2） 支援策の進捗状況について
- （3） 特色ある学校づくりについて
- （4） ボランティア人材の集め方について

### 10 会議記録

司会から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### （1） 学校評価のアンケート項目について

議長の指示により、教務・CS担当から、別紙資料に基づき学校評価のアンケート項目について説明があった。アンケートは経年変化をみるために昨年と同内容とし、結果は第4回学校運営協議会にて報告する旨の説明を行った。

#### （2） 支援策の進捗状況について

議長の指示により、教頭と学校支援コーディネーターから、別紙資料に基づき支援策の進捗状況について説明があった。

### (3) 特色ある学校づくりについて

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき「外国語教育」や「恵まれた立地を生かした学校外での学び」など、特色ある学校づくりについて説明を行った。今後、更に「特色ある学校づくり」を充実させていくために、「地域に活用できそうな人材はいないか」「地域に活用できそうな学習素材はないか」「6年生の卒業前の地域への感謝活動の受け皿として考えられることは」という点で熟議したい旨の説明を行った。

委員からは、以下の発言があった。

#### ① 活用できそうな人材・学習素材

- ・地域には鴨江寺などの寺社仏閣、山葉寅楠ゆかりの場所、復興記念館など学習素材が豊富。古地図もある地域なので昔何があったか学ぶこともできる。(加藤委員)
- ・どんぶらこ公園の地下調整池の見学は西小限定であり、税金の使い方、防災の学習になる。授業の中で活用していても良いと思う。(福田委員)
- ・市議会議員の方もいるので、議会見学や議員の仕事を知るなどお願いできる。電線地中化工事の見学も協力できるかもしれない。(鈴木委員)
- ・鴨江寺、五社神社など地域のことを良く知ってもらおうと同時に、学んだことを人に伝えられる、地域自慢のできる子を育てたい。(平出委員)
- ・福祉施設も多い。包括支援センターで声かけ運動の授業も行っている。また、シニアクラブを活用し、戦争体験を聞くこともできる。(岡野委員)
- ・観光ボランティアに協力してもらって地域を知ったり、浜松市に來ている外国人にインタビューをする、音楽演奏をするなどアウトプット力も鍛えたい。(三上委員)
- ・地域の農家から地産地消やフードロスについて学ぶこともできる。(種茂委員)
- ・通学路の防災対策など見て回ることもできる。(山田委員)  
→現在も毎年夏休みの宿題で、市の防災ノートに基づき親子で学んでもらっている。(生徒指導主任)
- ・自主学習で自主性を育てる方法を考えていくのも良いと思う。(山田委員)  
→自主学習の差が高学年は激しい。2年生の掲示にあった好きな本の写真のように、関心のあるものをタブレットで写真を撮って周りに伝えるなど、皆が簡単にできることが良いと思う。(福田委員)
- ・体験が一番。見て感動して、自分の進む道を決めていける。ごみを例にとっても袋の値上げ、ごみ増加など色々学べる。(土屋副会長)
- ・地域の子は地域の大人が育てる、大人の声かけが大事。また、今高齢者中心で行っている行事を継続するために高学年から風揚げなど参加することもできる。(中谷会長)

#### ② 6年生の卒業前の地域への感謝活動の受け皿

- ・自治会は人不足で苦勞している。1回りの活動ではなく「地域活動部」として継続

的に活動してはどうか。古紙回収、広報配布の手伝いなど自治会も助かる。(福田委員)

(4) ボランティア人材の集め方について

- ・「西小応援団」など名前をつけると参加しやすく、やる気につながる。学校としては難しいかもしれないが、SNS でハッシュタグの利用もできるのでは。(福田委員)
- ・ホームページは自分から見にいかないと情報が取れない。安全に支障のない範囲で情報に多く触れられるツール (Instagram、facebook 等) の活用はどうか。(鈴木委員)
- ・さくら連絡網を利用すると保護者に広く伝えられる。別の募集用のアプリもある。PTA にも「子供のために何かしたい」という人がいる。手伝いたい人を拾い上げられるしくみがあると良い。(平出委員)
- ・給食ボランティアは直接会える知り合いを集めた。広げると連絡の大変さもある。(岡野委員)
- ・募集時に時期と内容を明確にすることが必要。力仕事なのか、人数が多く必要なのか。自治会の広報で流すこともできる。(土屋副会長)
- ・学校として何を応援して欲しいかをはっきりさせ、ニーズを明確にすると良い。(山田委員)
- ・年間ボランティア計画の一覧表を保護者に一齐に送り、できそうなものに丸をつけてもらおうと、必要時にその情報を元に声かけできる。同じ一覧表を自治会の回覧板でも回すと良いかもしれない。(種茂委員)

11 その他連絡事項

- ・司会より、次回会議は令和7年2月13日(木)午後1時30分より会議室で開催する旨の報告があった。